

第19回 大阪小学生サッカー大会(U-11) 細則

- キックオフからの得点 キックオフから直接相手側のゴールに入った場合は得点を認めず、相手側にゴールキックが与えられる。
- PK方式 勝者を決定する必要がある場合、両チーム3名ずつの競技者がキックを行なったのち、両チームの得点が同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、交互に順序を変えることなく、キックは続けられる。
- 審判について 事前に割り当てられた審判を不履行の場合、規律委員会の処分を受ける。
新規及び昇級等で審判証が手元にない場合は、審判委員会の押印のある合格(証)通知と顔写真つきの本人確認できるものを提示すること。
主審・副審及び第4審は、試合開始前にお互いが打ち合わせ等の準備に努めること。
第4審を割り当てられた審判員は、「8人制競技規則」にある補助審判の役割を参考にすること。また、本部役員・会場責任者も第4審に協力するものとする。
- ユニフォームについて 両チーム同色や区別がつきにくい場合、会場本部にて事前調整を行い、両チーム立会いのもとに決定する。また、会場本部はユニフォーム各2組の内から、判別しやすい組合せを決定し、主審が確認を行う。
GKがFPとして出場する場合、又は、逆の場合の背番号は固有番号で有れば、必ずしも一致しなくともよい。(正副の番号は一致しなくともよい)
GK及びFPのピブスの着用は認めない。
- テクニカルエリア エリア内には指導者と交代要員の座席部分が設置される。
(これは、全人数分の座席の確保を確約するものではない)
その都度ただ1人の指導者のみが戦術的指示を与えることができる。
エリア内では責任ある態度で行動する限り、戦術的指示を行った後であっても、ベンチに戻る必要はない。
- 競技者の交代手続 (FPの場合)
交代によって退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
フィールドに入る選手は、交代ゾーンからフィールドに入る。
インプレー中、アウトオブプレイ中にかかわらず交代できる。
主審及び第4審の承認は必要ない。(但し、第4審の用具チェックは受ける。GK含む)
(GKの場合)
ボールがアウトオブプレイになった時、主審の許可を得て交代を行う。
退くGKは、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
代わりに入るGKは、交代ゾーンから入る。
※負傷等により退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る必要はない。
- 選手証不携帯について 選手証を不携帯の選手の出場は認めない。チームとして不携帯の場合は棄権とする。
- 移籍について 本大会期間中の移籍に関して、移籍もとのチームで本大会に出場した者に関しては移籍先のチームにおいてその出場を認めない。
- 負傷者について 負傷者については各チームで処置等を施すこと。
主催者、主管者は一切の責任を負わない。
- 規律委員会処分について 会場責任者の指示に従わない場合
駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破損等の問題があった場合
レギュレーション違反があった場合
予期せぬ問題が発生した場合
上記の場合、規律委員会にて処分を決定する。処分を受けたチームは決定を遵守すること。
尚、当該チームの保護者の行為も含まれますのでご徹底ください。
- 複数エントリーについて 複数エントリーの場合、5年生がそれぞれのチームに8人以上必要となる。
また、地区大会の抽選を行うまでにメンバー表の提出をすること。
提出方法は複数エントリーチーム用メンバー表を参照。